

アキミスト

# AKIMist® “E” Tセット

## ドライフォグポータブル加湿セット

### 湿度自動制御装置（RHC-C11）付

## 取扱説明書

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ず本書をよく読み、正しく安全に使用してください。  
また、お読みになった後はいつでも見られる場所に保管してください。

なお、品質、性能向上、その他の事情で部材の変更を行うことがあります。  
その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますが、  
あらかじめご了承ください。

### — 目次 —

1	安全上のご注意	・・・1
2	特長	・・・3
3	組み立ての前に	・・・3
4	完成見本	・・・4
5	設置前の注意事項	・・・5
6	組立方法	・・・6
7	ご使用方法	・・・11
8	お手入れ方法	・・・14
9	「故障かな？」と思ったら	・・・15
10	仕様	・・・16

# 1. 安全上の注意



**警告**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



**警告**

- ・液加圧タンクの空気圧は0.2MPa以下

空気圧をかけすぎるとタンクが破裂する恐れがあります

- ・水を入れるときは液加圧タンク内の圧縮空気を抜く  
タンクのキャップが飛び出す恐れがあります

- ・液加圧タンク内に水以外の液体を入れないこと  
タンクの腐食・破損・破裂、チューブ・ノズル等の破損につながります

- ・正しい電源電圧で使用してください

本機はAC100V～240Vの範囲で使用することができますが、使用する電磁弁の電圧が電源電圧と同じであることをお確かめください

- ・配線工事は確実に

端子の緩み等で、電気ショートする恐れがあります

- ・結線時以外は内部を触らないでください

感電する恐れがあります



## ⚠ 注意

- ・ノズルの分解時は、圧縮空気、水を止めてから  
ノズルの破裂、水漏れの恐れがあります。

- ・使用環境に注意してください

温度（5℃以上40℃以下）

湿度（80%以下）

ホコリが少ないこと

酸・アルカリ・有機溶剤の雰囲気でないこと

水濡れや結露する場所でないこと



- ・供給圧力に注意してください

供給エアは0.7MPa以下で供給してください。

電磁弁が動作不良を起こす可能性があります。

## 2. 特長

- ・ 簡単・手軽な操作で多量の霧（ドライフォグ）を発生させることができます。
- ・ 軽量・コンパクトなので、持ち運びも容易です。
- ・ 組立方法は、いたって簡単です。

## 3. 組立ての前に

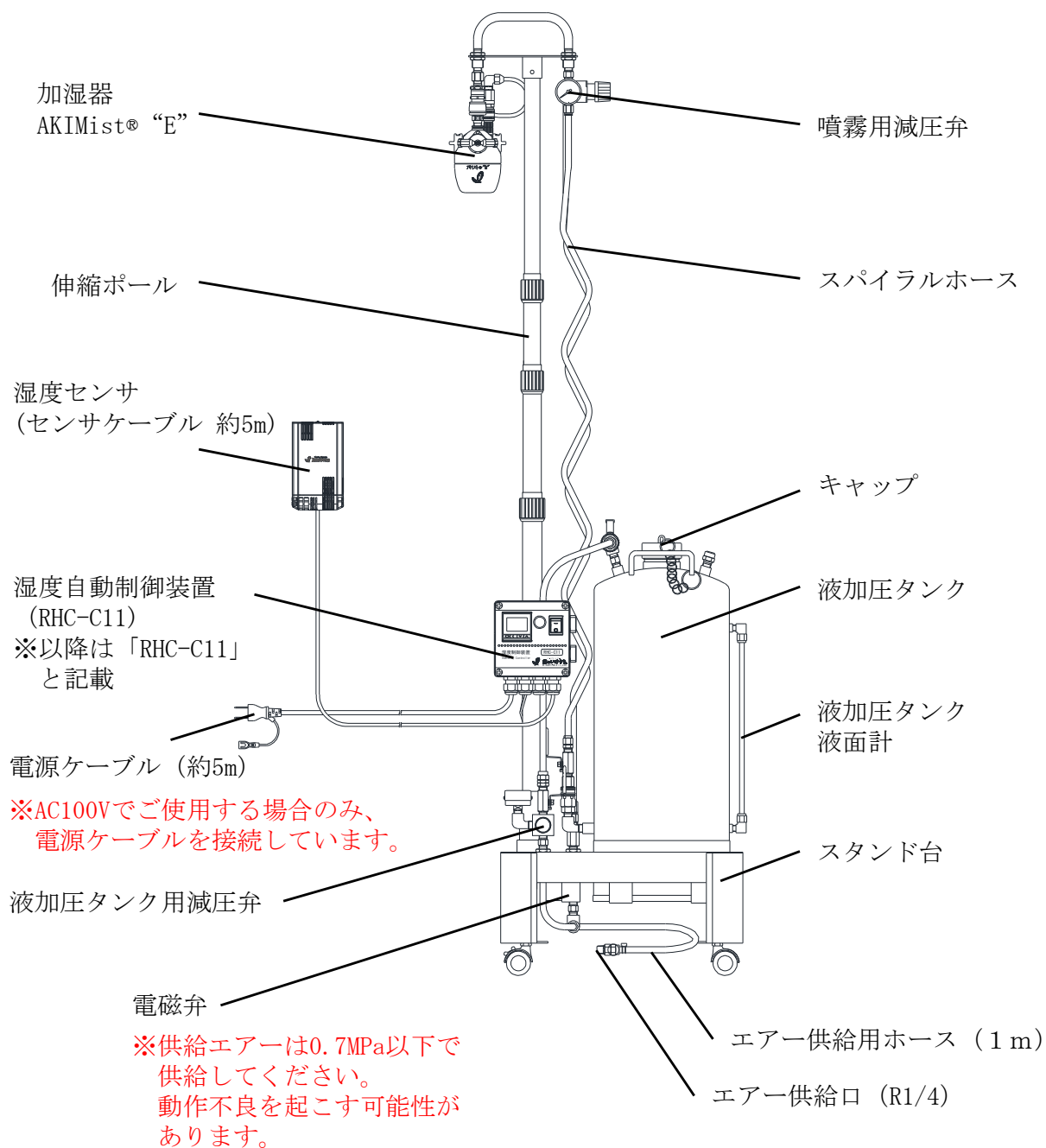
組立て前に、梱包品をご確認ください。  
納入漏れがある場合は、お手数ですがご連絡をお願いします。

 <p>加湿器AKIMist® “E” 本体</p>	 <p>液加圧タンク</p>	 <p>スタンド台 (電磁弁固定済)</p>	 <p>湿度センサ</p>
 <p>スパイラルチューブ</p>  <p>AE取付ユニット</p>	 <p>お掃除セット</p>  <p>六角レンチ シールテープ 固定用ビス(2個) カプラプラグ (ジョブラックス製 JF-02)</p>	 <p>伸縮ポール (RHC-C11付き)</p>	取扱説明書(3部) <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本書</li><li>・ 湿度自動制御装置 (RHC-C11)</li><li>・ AKIMist® “E”</li></ul>

※上記写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

## 4. 完成見本

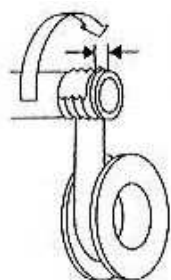
本セットは組立て式です。最終的には下図のようになります。



※上記と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

## 5. 設置前の注意事項

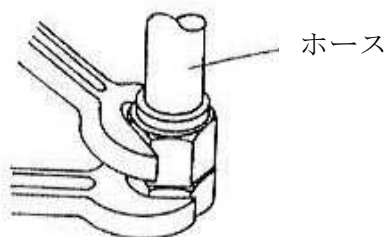
★ネジ部には必ずシールテープ  
を巻いてください



先端のネジ1～2山  
はシールテープを  
巻かないように

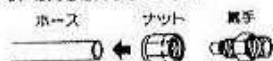
ネジの向きに沿って  
少し引っぱりながら  
2～3回巻く

★ネジ部はスパナ等で締め付けてください。

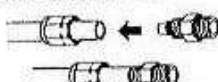


★ホース接続の仕方

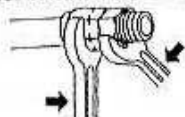
①ナットをはずしホースに通す  
(ナットの向きを確かめて下さい)



②ホースを継手に差し込む  
(奥までしっかり押し込んで下さい)



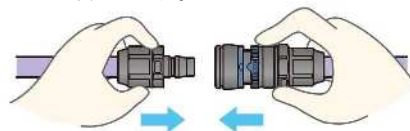
③ナットを締めつける  
(スリカを使ってしっかり締めて下さい)



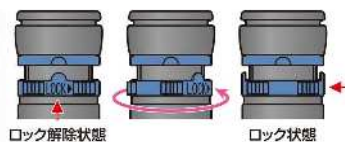
★ワンタッチカプラの使い方

<組付け方>

ソケットのスリーブを引き、プラグを挿入してから、スリーブを離します。

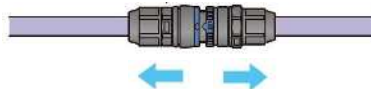


セーフティロックリングを回し、ロック状態にしてください。



<外し方>

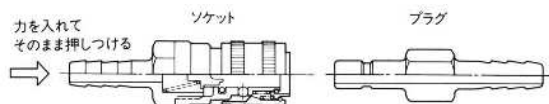
セーフティロックリングを解除状態にした後、ソケットのスリーブを引き、プラグから引き離します。



AKIMist® “E” 本体の水側カプラは下記要領で組み付け、取り外してください。

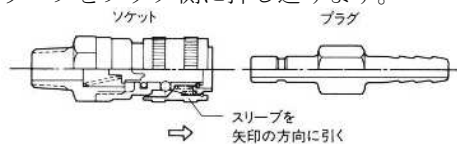
<組付け方>

ソケットをそのままプラグにカチッと音がするまで押し込みます。



<外し方>

ソケットのスリーブをプラグ側に押し込みます。



## 6. 組立方法

本品の組立ては、以下の要領で行ってください。

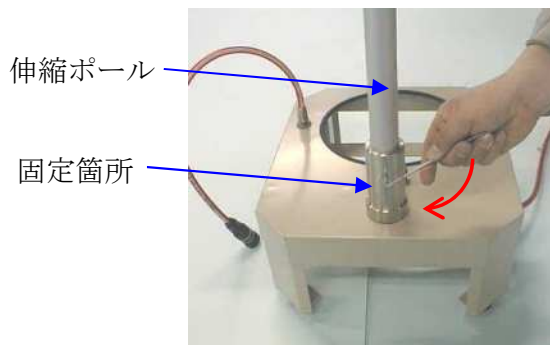
※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

- 1) 伸縮ポールをスタンド台に差し込み、付属の六角レンチで固定用ビスを締め付けてください。



注意

固定用ビスの先端がポールに当たってから1/8周締め付けてください。  
強く締め付けるとポール破損の原因となります。



- 2) AE取付ユニットをポールに差し込み、付属の六角レンチで固定用ビスを締め付けてください。



注意

固定用ビスの先端がポールに当たってから1/8周締め付けてください。  
強く締め付けるとポール破損の原因となります。



次頁へ続く↓

3) スパイラルホースをAE取付ユニットに取り付けてください。

- ①AE取付ユニットの継手キャップを外し、黒ホースに継手キャップを通してください。
- ②黒ホースを継手の奥まで差し込んでください。



注意

ホースの差込みが固めとなっておりますので、作業時に怪我をしないよう、十分ご注意ください。  
(黒ホースを差し込む際に黒ホースに石けん水を塗ると滑りがよくなり差し込みやすくなります。黒ホースが抜けないようにご注意ください。)

- ③黒ホースが継手の奥まで差し込まれていることを確認し、継手キャップをきつく閉めてください。



ホースを継手の奥まで差し込み、



キャップをきつく閉めてください。  
(最後はスパナで締めてください)

- ④赤ホースを噴霧用減圧弁下の継手に奥まで差し込んでください。



- ⑤もう一方の赤ホースをスタンド台の継手に奥まで差し込んでください。



次頁へ続く↓



- 4) 液加圧タンクに水を入れてください。  
タンクのキャップを開け、水を入れてから再びキャップをきつく閉めてください。



- 5) 液加圧タンクをスタンド台に載せてください。

- 6) 黒スパイラルホース先端の青バルブを液加圧タンクの継手に接続してください。



メスカプラのリング（丸印）を  
押し下げてから、差し込むと  
容易に接続できます。

- 7) スタンド台からのエアーホース（メスカプラ継手）を、液加圧タンク上部に接続してください。



次頁へ続く↓

- 8) AKIMist® “E” をAE取付ユニットに接続してください。  
各供給部には保護キャップが付いていますので、取り外してお使いください。

次の点にご注意ください。

カプラは確実に取り付けられていますか？

※水側の取付部分に隙間があればしっかりと取り付けられていないので、カチッと音がするまでカプラを押し込んでください。



○ 隙間がない



× 隙間がある

- 9) スタンド台足元から出ているホース（エア供給用ホース）をコンプレッサー、又はエア配管へ接続してください。

※供給エアは0.7MPa以下で供給してください。動作不良を起こす可能性があります。

※Rc1/4（管用テーパネジ1/4インチメスネジ）をご準備下するか、同梱のカプラプラグを使ってカプラ接続してください。  
同梱のカプラプラグを使用する場合は、互換性のあるものを使用してください。  
エアが漏れる場合には適正なものに変更してください。

- 10) ポールの高さを調節してください。



締まる

緩む

次頁へ続く↓

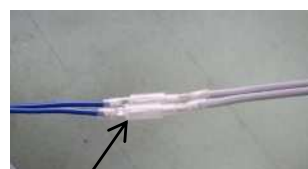
1 1) 湿度センサを取り付けてください。  
湿度センサの取り付けについては、別紙RHC-C11の取扱説明書「ご使用前の準備」をご参照ください。

1 2) 電磁弁をRHC-C11に接続してください。

- 各機器には末端加工（差込端子）をしたケーブルを付属しています。
- 電磁弁のケーブルはスタンド台下部に固定されています。
- RHC-11側のケーブルをスタンド台のグロメットに通してください。



電磁弁



電磁弁

RHC-C11

差込端子は奥までしっかり  
差し込んでください



グロメット

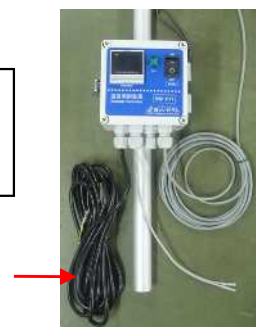


電磁弁

※差込端子が架台の下に来るように  
してください

1 3) 電源ケーブルをコンセントに差し込んでください。

※AC100Vでご使用の場合のみ、電源ケーブルを接続しています。  
AC100V以外でご使用の場合は、電源ケーブルをご準備ください。  
詳細は別紙RHC-C11の取扱説明書をご参照ください。



以上で、組立ては完了です。「ご使用方法」に進んでください。

## 7. ご使用方法

### 1. ご使用開始時

※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

- 1) ノズルの保護キャップを外してください。
- 2) RHC-C11の電源スイッチを入れ、別紙RHC-C11の取扱説明書「ご使用方法」に従って操作し、設定値を決めてください。
- 3) エアを供給してください。

※供給エアは0.7MPa以下で供給してください。動作不良を起こす可能性があります。

- 4) 液加圧タンク用減圧弁を調節して、0.1MPaに設定してください。

- ①液加圧タンク上の青バルブを閉じてください
- ②液加圧タンク用減圧弁についている赤バルブを開けてください
- ③液加圧タンク用減圧弁のつまみを調整(回して)ください。



つまみをカチッと音がするまで引っ張ってからゆっくり右に回し、0.1MPaになったらつまみをカチッと音がするまで押してください。

#### タンク圧力が高すぎる場合

- ①液加圧タンク用減圧弁のつまみをゆっくり反時計方向に回してください
- ②液加圧タンク上の青バルブをゆっくり開けてタンク内の空気を抜いてください
- ③圧力が約0.1MPaまで下がったら、液加圧タンク上の青バルブを閉じて液加圧タンク用減圧弁で圧力を調整してください

- 5) スパイラルホース下の青バルブを開けてください。(写真1参照)

写真1



写真2



- 6) スタンド台の赤バルブを開けてください。(写真2参照)

- 7) 噴霧用減圧弁を調節してください。設定圧力は12ページの「ご使用中」の表を参照してください。

つまみをカチッと音がするまで引っ張ってからゆっくり右に回し、所定の圧力になったらつまみをカチッと音がするまで押します。



以上で、2) で設定した値で自動で噴霧させる準備が整いました。実際に噴霧するかを確かめるときは、設定値を操作して確認してください。

## 2. ご使用中

### 噴霧量を変えたいとき

噴霧用減圧弁のツマミを回し、圧力調整してください。

(下表参照)

空気圧力 (MPa)	噴霧量(L/hr)							
	AE-1		AE-2		AE-3		AE-4	
	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)
0.2	1.3	—	2.6	—	3.9	—	5.2	—
0.3	2.4	3.3	4.8	6.6	7.2	9.9	9.6	13.2
0.5	3.6	—	7.2	—	10.8	—	14.4	—

(注意)

※空気圧力は03Cの場合、0.2MPa～0.5MPaでご使用ください。

※03Bの場合、使用圧力範囲は0.3MPa～0.35MPaですが噴霧量は変わりません。

※上記以外の圧力で使用しないでください。濡れや水漏れの原因になります。

### ・噴霧を一時的に噴霧/停止したいとき

スパイラルホース下の青バルブとスタンド台の赤バルブを開/閉してください。

噴霧開始時は、先に青バルブを開け、次に赤バルブを開けてください。

噴霧停止時は、先に青バルブを閉じ、次に赤バルブを閉じてください。

### ・液加圧タンクの水量に注意

液加圧タンク液面計から水が見えなくなったら、必ず水を補充してください。

(13ページ参照)

### ・AKIMist® “E” の回転に注意

AKIMist® “E” を回転させないでください。

回転させると、液ニップル部が緩む可能性があります。



### 3. ご使用終了時及び水補充時

※各項目の写真と実際の部品外観・形状は異なる場合があります。

☆印はご使用終了時のみ、△印は水補充時のみ、  
無印は両者共通の手順です。

- 1) スタンド台の赤バルブを閉じてください。
- 2) 噴霧用減圧弁のつまみを回し圧力を0にしてください。  
(右写真参照)
- 3) スパイラルホース下の青バルブを閉じてください。
- 4) ☆加湿器本体下部を①左へひねり、②下に引いて  
加湿器本体下部の水を捨ててください。(右写真参照)



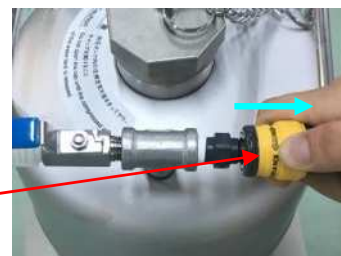
- 5) RHC-C11の電源スイッチを切ってください。
- 6) 下記のとおり液加圧タンク内の圧縮空気を抜いてください。(下写真参照)

- ①液加圧タンク用減圧弁についている  
赤バルブを閉じてください。
- ②液加圧タンク上の青バルブを開けて、  
空気が抜けきるまで待ってください。
- ③☆液加圧タンク用減圧弁のつまみを  
反時計回りに回してください。



- 7) 液加圧タンク上部からカップラ継手を取り外してください。

メスカプラの黄色リングを  
引いてから抜いてください



8) スパイラルホース下の青バルブが閉じていることを確認し、カプラを外してください。

メスカプラのリングを  
押し下げてから抜いてください



9) ☆液加圧タンクの水を捨ててください。

10) △液加圧タンクに水を入れ、キャップを締めてください。

11) 7)、8) で外したカプラを再接続してください。

12) △11ページの「ご使用開始時」と同様の操作をして、噴霧させてください。

以上で完了です。

## 8. お手入れ方法

★ AKIMist® “E” のお手入れについては、別紙AKIMist® “E” の取扱説明書をご参照ください。

★ RHC-C11のお手入れについては、別紙RHC-C11の取扱説明書をご参照ください。

## 9. 「故障かな？」と思ったら

ご使用中に以下の異常が発生したら直ちにエア源を止め、次の事項をお調べください。

( AKIMist® “E” 取扱説明書、RHC-C11取扱説明書の「故障かな？」と思ったらを併せてお調べください。)

こんなときは	ここをお調べください	なおしかた
噴霧しない あるいは すぐに噴霧 しなくなる	電源は入っていますか (空気は送っていますか)	電源を入れる (空気を送る)
	空気圧力は正常ですか	エア源の圧力を確認する 噴霧用減圧弁の圧力を確認する
	液加圧タンクに水は入っていますか	水位が低いときは水を補充する
	接続部から空気、水が漏れていませんか	漏れ箇所を締め直す カプラの接続を確認する
間欠噴霧する	ノズルが目詰まりしていませんか	ノズルの掃除をする (お手入れ方法を参照ください)
	空気と水の接続は正しいですか	それぞれ正しい方に接続する
霧が粗い	空気圧力は正常ですか	噴霧用減圧弁の圧力を確認する
ノズル先端より 水滴が落ちる	ノズル先端にゴミが付いていませんか	ノズルの掃除をする (お手入れ方法を参照ください)
	空気圧力は正常ですか	03Cの場合 0.2~0.5MPaに調整する 03Bの場合 0.3~0.35MPaに調整する
電源スイッチを 「ON」にしても 作動しない	元電源は入っていますか	元電源を入れてください
	ヒューズが切れていませんか	ヒューズ交換
調節計の現在 湿度表示が 「UUUU」で 点滅する	湿度センサの配線はつながっていますか	湿度センサの配線を点検する
湿度表示が おかしい	別紙RHC-C11の取扱説明書をご参照ください	
噴霧ランプが 点灯している が、噴霧して いない	圧搾エア、水が止まっていますか	圧力計を確認し、圧搾エア及び水を供給する
	電磁弁に電気が来ていますか	電磁弁とRHC-C11を結ぶ配線を点検する



# 10. 仕様

## ■ AKIMist® “E” ドライフォグポータブル加湿セット (AE-Tセット)

項目		仕様								備考
ノズル	種類	AE-1		AE-2		AE-3		AE-4		
		(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	(03C)	(03B)	
	加湿量(L/hr)	1.3~3.6	3.3	2.6~7.2	6.6	3.9~10.8	9.9	5.2~14.4	13.2	空気圧力により異なります
	空気量(NL/min)	22~43	29	44~86	58	66~129	87	88~172	116	
Tセット	質量	約13kg								タンク内空時
	液加圧タンク	容量：18L 耐圧：0.7MPa 安全弁：パネ式(0.4MPaで作動)								
	圧縮空気耐圧	0.7MPa								
	最大高さ	スタンド台防振ゴム付：2300mm スタンド台キャスター付：2380mm								
電磁弁	電源	AC100V, 110V, 200V, 220V, 230V, 240V(御注文いただいた電圧により異なります)								
	消費電力(50/60Hz)	5.5/4.2W								
	最高作動圧力差	0.7MPa								
材質	液加圧タンク	ステンレス鋼304, Bs, NBR								
	加湿器	本体：PP樹脂等, ノズル：PPS樹脂及びOPFW樹脂等, Oリング：FKM, パッキング：FKM								
	ボール	アルミ								
	スパイラルホース	ソフトナイロン								

※ (03B)は空気圧力0.3~0.35MPaの範囲で加湿量は変わりません。

## ■ RHC-C11

	項目	仕様	備考
制御器 本体	電源	AC100~240V (50, 60Hz 単相)	100V仕様のみ電源ケーブル(5m)付
	消費電力	約20W	
	運転方法	調節計の設定湿度と現在湿度を比較して、 現在湿度<設定湿度の時は噴霧、 現在湿度>設定湿度の時は噴霧停止	
	インターロック	外部機器より無電圧a接点信号を受けて動作許可	COMとD22をジャンパ線でつないだ状態で出荷しているためインターロック使用時のみジャンパ線を外してください
	湿度設定範囲	0~100%RH	
	使用温度・湿度	0~50℃、0~85%RH	結露しないこと
	寸法	125(W) x 125(H) x 100(D)	突起物除く
	重量	約700g	
	ボックス材質	ポリカーボネート クリーム色	防滴仕様ではありません
湿度 センサ	素子素材	高分子フィルム	
	応答時間	素子単体1分以内	
	外形寸法	145(W) x 85(H) x 38(D)	突起物除く
	センサケーブル	約5m	

※ AKIMist® “E”、RHC-C11の仕様は、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

---

株式会社 **いけうち**  
<https://www.kirinoikeuchi.co.jp/>

〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座 1-15-15 第一協業ビル  
Tel : 0120-997-084 Fax : 06-6538-4023 E-mail : mist@kirinoikeuchi.co.jp

各地の営業所情報はこちらをご参照ください。

<https://www.kirinoikeuchi.co.jp/company/location/>